



Conference on Complicated
Cardiac Conditions treated
by Catheter(C5) in ARIA

第21回C5研究会

2018年11月22日(木) 16:50~18:20

電気ビル共創館 3F 第3会場 (B 中会議室)

— スペシャルコメンテーター: 新井 英和先生、上野 高史先生 —

PCI治療は成熟期を迎えつつありますが、その本質は局所治療にすぎません。しかし、しかるべき病態にしかるべきPCIを施行するとなると、その効果は絶大であり、患者さんの予後やQOLに直結する良好な成果をもたらします。昨今、本邦における医療経済を鑑み、appropriateなPCIが求められるようになりました。一方で、未曾有な高齢化社会を迎え、病態的・社会的に様々な背景を合併した(Complicated)、心疾患(Cardiac Conditions)が日常的に多く認められるようになりました。そこで、治療戦略についてガイドラインだけでは正解に導けない、いわば解答のない様々な背景を有する症例に対し、我々の持っている治療手段であるカテーテル治療(Catheter)を如何に、どのようなタイミングで有効に活用していけるかを徹底的に検討する会(Conference)、C5研究会(Conference on Complicated Cardiac Conditions treated by Catheter)を企画・開催して参りました。今回もARIA理事の先生方のご理解、多くの方々のご支援のもとに、ARIA2018 第一日目の22日(木) 16:50~18:20に第21回C5研究会を開催させていただくことになりました。ARIAの概念、また最近のhotな分野であるCHIPSにも通ずる研究会だと思っています。皆さまと積極的な症例検討の結果、明日からの診療のヒントになれば幸いです。是非とも奮ってご参加ください。

スペシャルコメンテーター: 新井 英和 (鹿屋ハートセンター)

上野 高史 (久留米大学病院)

コメンテーター: 近江 晃樹 (日本海総合病院)

堤 穰志 (東京慈恵会医科大学附属第三病院)

土井 宏 (久我山病院)

森田有紀子 (国立病院機構 相模原病院)

【プログラム】

Opening Remark: 芦田 和博先生 (聖隷横浜病院)

第一部 座長: 芦田 和博先生 (聖隷横浜病院)
谷川 高士先生 (松阪中央総合病院)

■管理に難渋した急性心不全に対し、ハイリスクPCIが著効した超高齢患者の一例
横田 翔平 (湘南鎌倉総合病院)

第二部 座長: 菅原 重忠先生 (大和成和病院)
三宅 省吾先生 (三宅クリニック)

■整形外科術前に見つかった無症候性心筋虚血の治療方針に苦慮した一例
重永 豊一郎 (横浜市立大学附属病院)

第三部 座長: 野崎 洋一先生 (カレスサッポロ北光記念病院)
山本 克浩先生 (関西医科大学総合医療センター)

■石灰化結節に伴う進行性狭窄病変と考えられた不安定狭心症の1症例
西山 裕善 (高の原中央病院)

Closing Remark: 山本 克浩先生 (関西医科大学総合医療センター)

共催: ARIA 2018
C5研究会